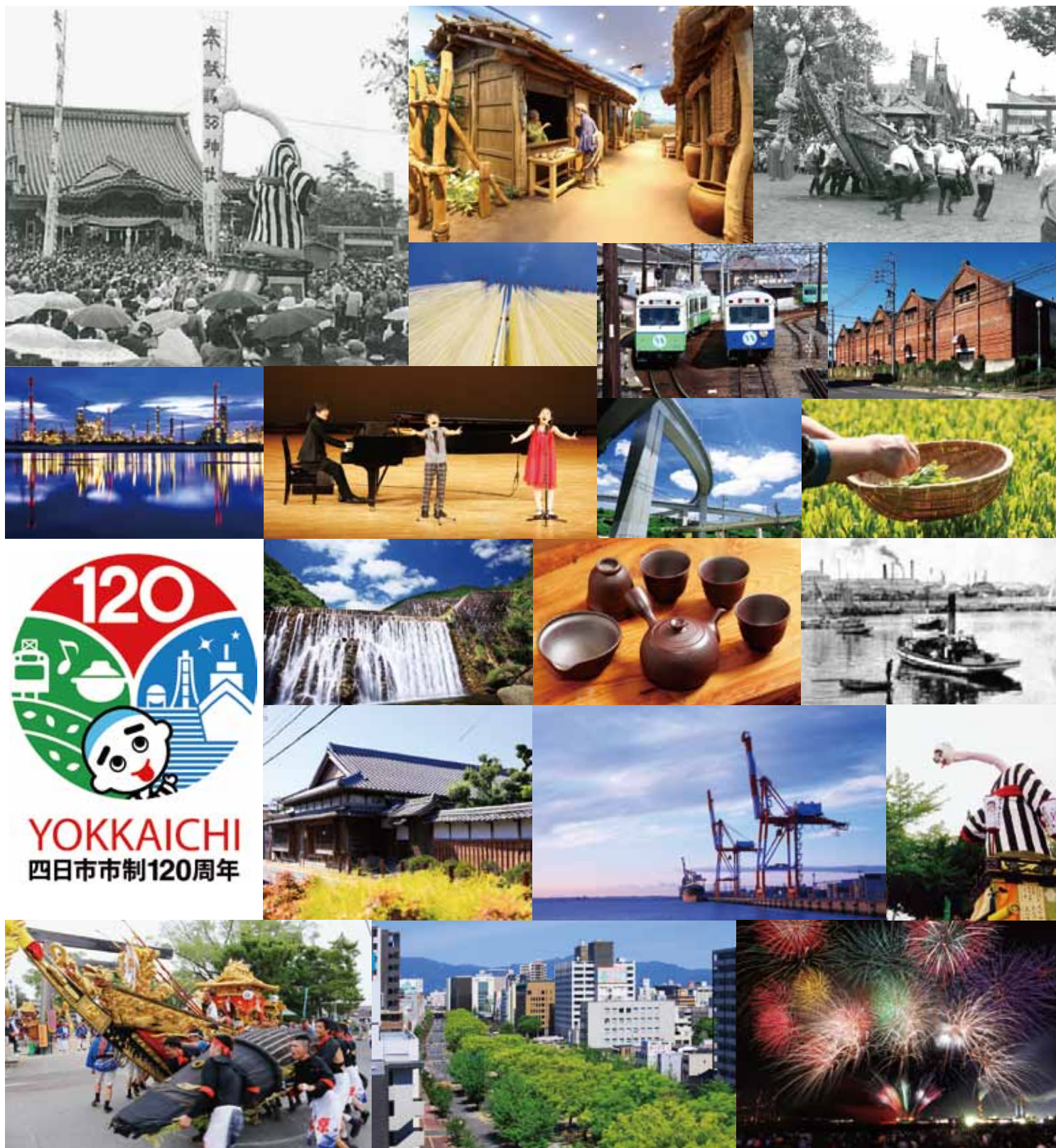




YOKKAICHI
四日市市制120周年

特集

未来に豊かな環境を引き継ぐために
～四日市公害裁判判決45周年～

スマホをかざそう! 【今月の動画】

- ・四日市公害と環境未来館
- ・四日市の夏

見方は、裏表紙の「広報紙で
動画を見よう」をご覧ください。





未来に豊かな環境を 引き継ぐために

～四日市公害裁判判決45周年～



1972(昭和47)年7月24日の四日市公害裁判判決から、今年で45周年を迎えました。

四日市公害は多くの犠牲を伴いましたが、一方で原告が全面勝訴した裁判の結果やその後の市民・企業・行政が一体となった環境改善の取り組みは、全国の公害対策や環境改善の規範とされています。

四日市公害を負の遺産として捉えるだけでなく、そこから得た経験や教訓を未来へつなぐためにどうすればいいのか。判決45周年を機に、今一度考えてみませんか。

ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch(CTY)
- 8月21日(月)～31日(木)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

四日市公害について

昭和30年代、高度経済成長の象徴として多くの市民の期待を集めた石油化学コンビナートが四日市に相次いで建設されましたが、経済活動を優先するあまり、環境への配慮を欠いていたことから、水質汚濁や大気汚染といった環境問題、いわゆる「四日市公害」が発生しました。



昭和30年代半ばのコンビナート

四日市公害裁判

1967(昭和42)年、9人の公害認定患者が第1コンビナート企業6社を相手に裁判を起こしました。この「四日市公害裁判」では、1972(昭和47)年7月24日に「ぜんそくの原因は工場から出る煙に含まれる亜硫酸ガス」と認められ、原告勝訴の判決が下されました。この裁判の過程で、公害対策が大きく前進するとともに、四日市だけでなく、全国でもその成果が生かされることになりました。



勝訴報告集会

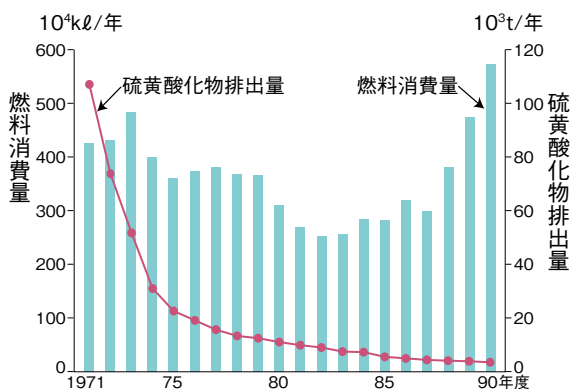
総量規制の導入

行政(三重県)は1960(昭和35)年から大気汚染の測定調査を開始し、1972(昭和47)年には全国初となる硫黄酸化物の総量規制(※)を実施しました。企業においても、高煙突化や硫黄分の少ない燃料への転換、排煙から硫黄酸化物を取り除く排煙脱硫装置の設置を進めました。

こうした取り組みによって、産業活動を継続しながら工場から排出される硫黄酸化物を大幅に減少させ、1976(昭和51)年度には、ぜん息の主要な原因物質である亜硫酸ガス(二酸化硫黄)の濃度が、国の環境基準を市内全域で達成し、その後もさらに低い数値を保っています。

※煙突ごとの硫黄酸化物の濃度を取り締まるのではなく、地域全体の許容量(総量)を定め、取り締まる規制

■四日市地域の硫黄酸化物の排出量と燃料消費量の推移



燃料使用量に大幅な変化がないにもかかわらず、硫黄酸化物の排出量が急激に減少しており、産業活動を維持したまま、硫黄酸化物排出量を削減できたことが分かります。

四日市公害裁判原告の思い



ゆきかず
野田 之一さん

9人の原告の中でただお一人存命の野田之一さん。現在も語り部として子どもたちに公害の歴史と教訓を語り続けるなど、四日市公害の記憶を風化させないために活動している野田さんに、四日市公害裁判判決45周年を迎えた今の心境について伺いました。

当時の裁判や、環境について

戦後の貧しい時代に、コンビナート建設で産業を発展させて生活が豊かになった一方で、多くの人が「ぜんそく」で苦しみました。私もその一人で、このままでは死んでしまうと思い、やむなく裁判を起こしました。

裁判は、相手の会社が大きいから絶対に駄目だと親や親戚が言っていましたが、会社側も私たちが苦しんでいたことを分かってくれて、判決に対して控訴しませんでした。判決をきっかけに企業が環境改善に力を入れて、今日の四日市ができたので、訴えて良かったとつくづく思います。

同じことを繰り返さないために、四日市公害で起こったことを次の世代の人たちに語り継いでいかなければなりません。私の経験がかけがえのない地球を守っていく意識を持つことにつながればと思います。

四日市公害の歴史

四日市公害はどのように起こり、どのように改善されていったのでしょうか。

四日市公害が発生するに至った経緯や当時の市民・企業・行政の動き、
公害発生前・発生後の主な出来事を年表で振り返ります。

主な出来事と市民の動き

当時、東京築地中央
卸売市場で「伊勢湾の
魚は油臭いので、厳重な
検査が必要」と言われ
ていたんだって。



・水質汚濁・異臭魚の出現



うがいをする児童

・異臭魚が取れる範囲が、四日市の沖
合4キロメートルまで広がる
・磯津でぜんそく症状を訴える人が増加

・塩浜地区連合自治会が公害について
地区住民にアンケートを実施
・四日市市総連合自治会での決議（公
害の早期解決と工場側の防止設備
の改善を求める）



当時は、コンビナートの
煙がひどくて、マスク
が毎日欠かせないくらい
だったんだって。

企業や行政の動き

1941

(昭和16年)

・第二海軍燃料しょうが稼働

・臨海部に重化学工場が進出を始める

1955

(昭和30年)

・旧第二海軍燃料しょう跡地に、石油
化学工場が進出決定

1959

(昭和34年)

・第1コンビナート稼働（石油精製、電力）

1960

(昭和35年)



磯津上空

1961

(昭和36年)

1960（昭和35）年ご
ろから、住民の訴えを受
けて、異臭魚の調査や亜
硫酸ガス（二酸化硫黄）
の測定が始まったんだ。



1962

(昭和37年)

・「ばい煙の排出の規制に関する法律
（ばい煙規制法）」公布
・四日市市磯津に県下で初の亜硫酸ガ
ス（二酸化硫黄）自動測定機設置

- ・「四日市市公害対策協議会」が発足
- ・「第1回公害をなくす市民大会」開催

1963
(昭和38年)

- ・公害患者が肺気腫で死亡
(初の公害犠牲者)

1964
(昭和39年)



9人の原告

- ・磯津の患者9人が6社を相手にして、損害賠償請求の訴訟を津地方裁判所四日市支部に提訴(四日市公害裁判始まる)

1965
(昭和40年)

1966
(昭和41年)

1967
(昭和42年)

- ・三重県に「公害対策室」を設置
- ・四日市市衛生課に「公害対策係」を設置
- ・第2コンビナート本格稼働

- ・コンビナート工場の高煙突化
- ・四日市市が公害患者の治療費を負担する制度発足(18人を認定、うち14人が入院患者)

- ・三重県が、テレメータ方式(遠隔測定法)による大気汚染の常時監視を開始(市内では、磯津、三浜小学校、保健所、窯業試験場)

四日市公害裁判は、被告6社が判決を重く受け止めて控訴せず、5年という短い期間で確定したんだ。



- ・四日市公害裁判判決。被告6社は控訴せず、判決が確定

1972
(昭和47年)

- ・四日市地域において二酸化硫黄の環境基準値達成(1976(昭和51)年度測定結果)

1977
(昭和52年)

- ・環境庁(現、環境省)より、四日市市が「星空の街」に選定される

1987
(昭和62年)

1990
(平成2年)

- ・「三重県公害防止条例」改正、施行(全国で初の本格的な硫黄酸化物の総量規制を導入)

- ・(財)環境技術移転センター(現、(公財)国際環境技術移転センター(アイセツト)ICETT)を設立



環境改善の取り組みによって四日市はきれいな自然を取り戻したんだね。

ICETTや四日市公害と環境未来館には、海外からもたくさんの方が、産業公害防止に関する技術や知識を学びにきてるんだよん。



2015
(平成27年)

- ・四日市公害と環境未来館がオープン



四日市公害の経験を 未来へつなぐために

今の環境を守る——

市内11カ所の大気汚染常時監視測定局で、亜硫酸ガス(二酸化硫黄)などの大気汚染物質の常時監視を行っています。また河川の水質や事業所からの騒音、振動、悪臭などを監視するとともに、独自に公害防止協定(※)を企業との間で締結しています。

※企業活動に伴って発生する環境負荷を低減することを目的とした協定



磯津測定局



大気汚染物質の
測定装置

経験を生かし、世界へ広げる——

1990(平成2)年3月31日、環境改善の過程で培われた産業公害防止に関する技術や知識を諸外国に伝え、地球環境保全に貢献することを目的として、三重県および中部経済界と連携し、官民合わせて62億円を投じて、現在の「国際環境技術移転センター(ICETT)」を設立しました。

2017(平成29)年3月末までに、中国からの615人、インドネシアからの317人をはじめ、91カ国・2,579人の研修員を受け入れています。



ICETTの研修

教訓を伝え、未来へつなげる——

2015(平成27)年3月21日、四日市公害の歴史と教訓を次世代に伝えるとともに、環境改善の取り組みや、産業の発展と環境保全を両立したまちづくり、経験から得た知識や環境技術を広く国内外に情報発信することを目的に、四日市公害と環境未来館を開館しました。

四日市公害に関する常設展示のほかにも、環境に関するイベントなどを開催しています。併設する博物館の展示(時空街道)と一緒に見ていただくことで、四日市の成り立ちや発展、その途中で発生した公害、その後の環境改善を一連のストーリーとして学んでいただけます。



四日市公害と環境未来館の展示

昔を学び、これからの四日市を見据える



豊田 美波さん(左)
岡田 勘汰さん(右)

四日市大学の環境情報学部で、四日市公害などの環境問題について学んでいます。



榊枝 正史さん

地域環境情報を発信する「なたね通信」の発行など、環境意識の啓発を目的とした活動をしています。

四日市公害に興味を持ったきっかけは？

大学の授業で四日市公害について学ぶ中で、公害は今でも起こり得ることを知り、公害についてより詳しく知りたいと思いました。四日市市だけでなく、新潟市や富山市を訪れるなどして、「四大公害」をはじめとする環境問題について広く学んでいます。

四日市公害について伝えたいことは？

市外の人と話をすると、四日市公害は既に終わった過去のことと言われますが、今も苦しんでいる公害患者さんがいることや、企業も公害を起こさないために努力し続けているということを知ってもらいたいです。また、最近では海外の大気汚染が問題となっていますが、四日市公害裁判や公害を乗り越えてきた経験、その教訓を広く伝えることで、公害は二度と起こしてはいけないことだと伝えたいです。

どうい活動をされていますか？

市内の河川の生態調査のほか、四日市公害や現在の環境についての講義などを行っています。環境を維持することの大切さや生き物の素晴らしさを伝えていくことで、環境を大切にする市民意識が育まればと思います。

榊枝さんにとって四日市公害裁判とは？

四日市公害裁判の歴史的意義があったところは、企業の共同不法行為が初めて認められたところです。全国に先駆けたこの判決によって、全国の多くの公害患者が救われました。

今後も、四日市公害裁判がいかに多くの人の命や家族を救ったかということを伝えたいと思います。



活動の写真

四日市公害裁判判決45周年を受けて

四日市公害の歴史と教訓を受け継ぐ我々四日市市民には、未来により良い環境を引き継ぐ使命があります。

そのためには、四日市公害の経験を真正面から受け止めてしっかりと伝えること、また、市民・企業・行政が環境改善に並々ならぬ努力を重ねてきた結果、現在の四日市があることを忘れてはなりません。

そうした先人の残した経験を次の世代に、また広い地域・国々に伝えていくためにも、この機会に当時の様子やその後の環境改善の歩みを振り返るとともに、改めて環境について考え、行動していくことが大切です。



市長 森 智広

みんなで 進める 緑あふれるまちづくり

本市は、鈴鹿山系から伊勢湾に至る多彩な自然環境や公園、街路樹などのさまざまな緑に恵まれたまちです。また、里山の保全や新たな緑を創出する活動に多くの市民の皆さんが取り組んでいます。緑あふれるまちづくりを一層進めていくには、市民・市民活動団体・企業の参画が大切です。市の制度を活用し、一緒に緑あふれるまちづくりに取り組んでみませんか。

市民緑地貝家町のピオトープ※
※野生の生き物の生息空間

市民緑地制度

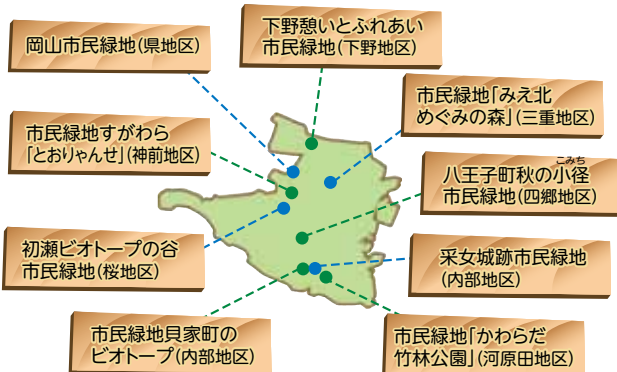
身近な民有緑地を地域の皆さんが自らの手で管理・整備し、市民の憩いの場として活用していただく制度です。市が所有者から土地を借り受け、地域団体などに維持管理と整備を委託しています。



岡山市民緑地

岡山市民緑地

●これまでに開設された市民緑地



市民緑地の保全活動に参加してみませんか。興味がある人・企業の皆さん、ぜひ都市計画課にご連絡ください。

花と緑いっぱい事業

身近な公園や街路などで花壇づくりや緑化活動を行うボランティア団体などに対して補助を行う制度です。今年度は88団体にこの制度を利用いただいています。



下野地区

生垣設置助成制度

道路に面する土地に新たに生垣を設置したり、ブロック塀を生垣に転換したりする場合に助成を行う制度です。



設置前

設置後

四日市市緑化基金

基金は、市民・企業・市が協働して総合的な緑化を図るために設置しています。市民や企業の皆さんからの寄付金、霞地区のコンビナート企業からの負担金を基に、「花と緑いっぱい事業」や「生垣設置助成制度」のほか、公園愛護会の活動などに使われています。

花と緑があふれるまちづくりのため、寄付にご協力をお願いします。詳しくは、都市計画課へ。

四日市のスポーツを支える スポーツ推進委員

市のスポーツ振興・発展のため、市の主催事業や
地域のスポーツ活動などで活躍する「スポーツ推進委員」について、
活動の様子を交えながらご紹介します。

スポーツ 推進委員って？

「各市町村でのスポーツ推進」を目的として地域の推薦などにより選ばれる委員で、本市では基本的に小学校区別に選出されます。

地域におけるスポーツ行事の企画や運営協力、さまざまなスポーツの普及に加え、各種市民大会の運営など、住民が運動する機会をつくり出すことがその役割です。

例えば、「地域住民を集め、夜間に学校の体育館を利用してニュースポーツの普及に取り組む」といった活動をしています。

こんな活動を
しています

PICK UP
ピックアップ

常磐地区「テニポン」

テニス+ピンポンの造語で、ニュースポーツの一つです。テニスに比べラケットが軽く、コートも比較的小さいため、年齢や経験を問わず、すぐにゲームを楽しめるのが特徴です。



常磐地区では、毎週月・土曜日の19:30～21:30に常磐小学校の体育館で練習しています。常磐地区に在住する人だけでなく、他地区からも練習に参加する人が集まります。



スポーツ推進委員
普及部会長
石井 和明さん

スポーツ推進委員になってから、勝敗よりも「楽しむ」ことが一番だと思えるようになりました。上手になることもいいことですが、みんなで楽しむのが第一ですね。

テニポンも普及が目的なので、サーブはアンダーで1本のみ、など独自のルールで行っています。本来の、一人5本のサーブだと、なかなか順番が回ってこないですから。

興味を持ってくれた人がいたら、ぜひ、一緒にやりましょう。お待ちしております。



参加者の声
そくどう
足道 裕見子さん

ここでは私が一番の初心者です。今までタスポニー(※)はしてきましたが、ラケットを使ったスポーツは初めてで、なかなか難しいです。テニス経験者などは、きれいなフォームなので憧れます。希望を言えば、もっと女性の参加者が増えたらいいですね。やると楽しいし、いい運動になりますよ。

※タスポニー：

基本的なルールはテニスに類似。テニスボールの代わりに直径17cm、重さ約50gのスポンジボールを手で打ち合う球技

第48回
四日市
市民スポーツ
フェスタ

参加者
募集中!

日時：10月8日(日) 総合開会式8:00
(グラウンドゴルフのみ7日)

場所：四日市ドーム

申し込み方法など、詳しくは「広報よっかいち」
7月下旬号表紙をご覧ください。

●種目

ファミリーバドミントン
ソフトバレーボール
レクリエーション
グラウンドゴルフ
タスポニー／ウォーキング
ロゲイニング





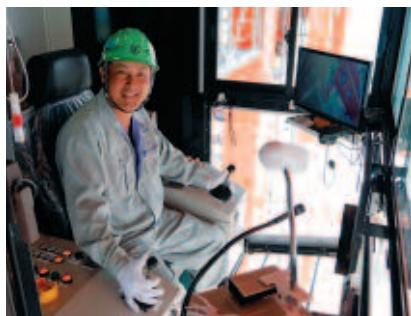
高島大輔さん

コンテナの積み卸しをするための巨大なガントリークレーン。そのオペレーター、通称“ガンマン”の高島さんに、四日市港での仕事について伺いました。

■港湾の花形“ガンマン”

仕事の内容は港湾での荷役です。一口に荷役といっても、コンテナ船の上で積み荷を固定したり、ストラドルキャリアという特殊自動車でコンテナを移動させたりと、さまざまな仕事があります。

その中でも、ガントリークレーンを操縦するガンマンは港湾の花形と言われており、クレーン運転士免許と専門の研修の受講が必要です。10年ほどの下積みを経て、



ガンマンの仕事に就けたときはうれしかったですね。ちなみに、ガントリークレーンは三重県では四日市港にしかないんですよ。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：8月11日～9月10日

月水金日 9：30・20：30

火木土 12：30・20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の

「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

日時：8月13日・27日 8：54・14：54

■繊細な操作が求められます

大型の荷役機器であるガントリークレーンですが、繊細な操作が必要で、とても気を使います。荷物を揺らさないように運ばなければなりませんし、スピードも求められます。そして、何よりも大切なのは作業を安全に行うことです。地上30mにある操縦席からは下で作業している人が見えない場合があるので、現場リーダーからの指示や合図を頼りに、最大限の注意を払いながら操作しています。



操縦席で吊り具を操作する
高島さん



吊り具が揺れないように、操縦席を細かく前後に動かして制御します

■物流で皆さんの生活を温かく

四日市港は世界の主要な港と航路でつながっていて、24時間365日動き続けています。荷役の仕事も船の往来に合わせて行われるため、季節や時間帯に関係なく仕事が入ります。貿易には盆休みなどは関係ありませんから。

大変なこともありますが、こうして運んださまざまな荷物が皆さんの温かい生活につながっていると思うと、やりがいを感じますね。



技能実習生紹介

三重ものづくり協同組合

お問い合わせ先

〒514-0831 三重県津市本町34番6号
電話 059-213-5701 FAX 059-374-3718
担当：龍村 j-tatsumura@isenp.jp



技能実習制度とは法務省入国管理局が実施している制度で、発展途上国の経済発展・産業振興の担い手となる人材育成を行うために、諸外国の青壮年労働者を日本の企業が受け入れ、産業上の技能修得を目的としたもので、我が国の国際協力・国際貢献の重要な一翼を担っています。



第17回

夏も講座が盛りだくさん

7月24日に四日市公害裁判判決45周年を迎えました。公害の経験や教訓を風化させることなく次世代へ伝えるとともに、より良い環境を目指すために、この夏は改めて、公害や環境について考えてみませんか。

そのお手伝いができたらと、四日市公害と環境未来館では、今年もたくさんの公害・環境に関する講座やイベントを実施しています。

8月5日(土)・20日(日)には、午

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30~17:00 (展覧会への入場は16:30まで)

8月の休館日 8月7日・21日・28日 (いずれも月曜日)

9月の休館日 9月4日(月)・11日(月)~15日(金)・19日(火)・25日(月)

※8月14日(月)は開館します



後1時から常設展のガイドツアーを開催します。希望の時間に合わせて、解説員などが展示を分かりやすく案内します。



また、9月6日(水)には、大人向けに、「企業の環境対策、今を知るバスツアー」を開催します。改めて、現在の四日市における環境対策につ

いて学んでみませんか。

自由研究はできましたか

当館では8月19日・26日(いずれも土曜日)に、「公害・環境の自由研究まとめ方相談会」を開催します。よりよい自由研究に仕上げるために何が 필요한のか、経験豊かな当館職員がアドバイスします。

ぜひ、公害・環境について学びを深めて、自慢の研究作品を発表してくださいね。

問い合わせ先

四日市公害と環境未来館
(☎354-8065 FAX329-5792)

市制120年の絆

第9回

市政功労者表彰を行いました

本市は、明治30年8月1日に全国で45番目の市として誕生しました。

これまで、市制施行70周年から10年ごとの節目の年に、市政功労者表彰を行っています。市政の振興、公共の福祉の増進、産業文化の振興など、それぞれの分野での役割を長年にわたり堅実に続けられ、本市の発展に貢献された人を表彰します。

120周年を迎えた今回は、特別市政功労者の3人をはじめ、「市政の



120年の絆、これからもずっとこの街で—四日市。

本市は8月1日に市制施行120周年を迎えました。市の歴史を振り返り、市への誇りや愛着を持って未来への展望と一緒に考えてみませんか。

振興」「教育・文化の振興」「社会福祉の振興」「地域医療、保健衛生及び環境の充実・発展」「産業の発展」「治安維持、災害防護」「地域社会づくり」に貢献された55人の皆さんが受賞されました。

120周年を記念したイベントも市内各所で繰り広げられています

恒例の「大四日市まつり」や「花火大会」も120周年特別企画があります。また、博物館などでも記念のイベントや企画展を開催しています。

併せて、地域や団体など、市民の皆さんが取り組む事業や、企業などへの協賛事業も実施しています。こ

れらの市民企画イベントや協賛事業は、随時、募集しています。皆さん、一緒に120周年で盛り上がりましょう。



大四日市まつりに出演する
KUNI-KEN

問い合わせ先

政策推進課
(☎354-8112 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

三重のニュース
いっぱい!

伊勢新聞

本社：津市本町34番6号 PC・スマホ・タブレットで
☎059-224-0003 伊勢新聞 検索

●購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。●



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。
四日市には映画やドラマの撮影隊をお手伝いする、よっかいちフィルム
コミッションがあるんだ。今回は6月に撮影されたドラマの紹介だよん。

こにゅうどうくんのお部屋

第26回

『1942年のプレイボール』

NHK名古屋制作のドラマが、東海地方を中心に撮影されたよ。戦中・戦後のプロ野球で活躍した野口二郎選手の物語なんだって。中でも、1942年の延長28回の記録は、今でも破られていないんだ。

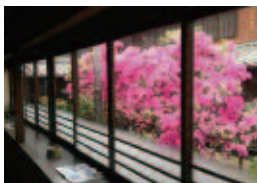


四日市での撮影は？

四日市では、野口選手の弟が合宿

する阪神の寮として旧「浜松茂」が撮影されたよ。当時は旅館を合宿場にしていただって。

長いドラマの中の1シーンだから、気を付けて見てね。



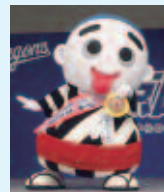
歴史ある建物の中庭には、樹齢100年以上の大きなつつじも

ロケ地にドラマあり！

ところで撮影が行われた「浜松茂」は創業明治38(1905)年の老舗料亭。今年の3月に惜しまれながら112年の歴史に幕を閉じたんだよん。元々は四日市の紡績王伊藤伝七さんの別邸だったんだって。戦争でも焼けず、

今も残る貴重な建物。四日市の歴史を見詰めてきたんだね。今後はNP Oが主催する「100年伝統継承倶楽部」によって、四日市の歴史と文化の発信地として活用されていく予定なんだって。

JIMOキャラ総選挙®第1位



たくさんの応援、本当にありがとう！

ゆるキャラ®グランプリも、投票よろしくね。

ゆるキャラ®グランプリ公式サイト
投票はコチラから！



問い合わせ先

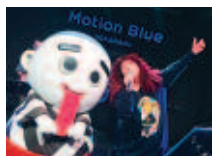
観光・シティプロモーション課
(☎354-8286 FAX354-8307)

市政最前線

第7回

四日市市は8月1日に市制施行120周年を迎えました。今年の夏は例年にも増して盛り上がっています。

「大四日市まつり」を開催します



8月5日(土)は、「おどりの日」として、おどりフェスタを中心に踊り三昧の日。本市出身のボーカリスト浦嶋りんこさんが「こにゅうどうくんのテーマ曲」を歌い、こにゅうどうくんがダンスパフォーマンスします。6日(日)は、「郷土の

本市の主な施策や旬の話題を取り上げるコーナーです。
今回は、夏の恒例イベントについて紹介します。

文化財と伝統芸能の日」で、からくり山車「大入道」などが登場します。

ユネスコ無形文化遺産「鳥出神社の鯨船行事」をご覧ください

昨年12月1日に「鳥出神社の鯨船行事」が全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。これを記念して、今年は8月14日(月)の町練りと15日(火)の本練りに、4艘すべての鯨船山車が曳



き出されます。また、8月6日(日)の大四日市まつりにも4艘が揃って登場します。ぜひ、お見逃しなく。

花火大会にもお越しください

今年は、8月27日(日)[荒天時は9月3日(日)]に花火大会を開催します。約4,000発の花火が夏の夜空を彩ります。エンディングの120周年記念スターマインの打ち上げもご期待ください。



問い合わせ先

観光・シティプロモーション課
(☎354-8286 FAX354-8307)

有料
広告
掲載
欄

～地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで

葬儀のことなら24時間365日～



株式会社 ふじや本店
光倫会館
経済産業大臣認可
全葬連
0120 FreeDial 0120-114248

■本社／四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015
[TEL] 059-351-1151 [FAX] 059-351-4224
■光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町 6613
[TEL] 059-325-2482 [FAX] 059-325-2483
■富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田 2丁目 3-7
[TEL] 059-361-2481 [FAX] 059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

選挙に関する
お知らせ

衆議院小選挙区が見直されました

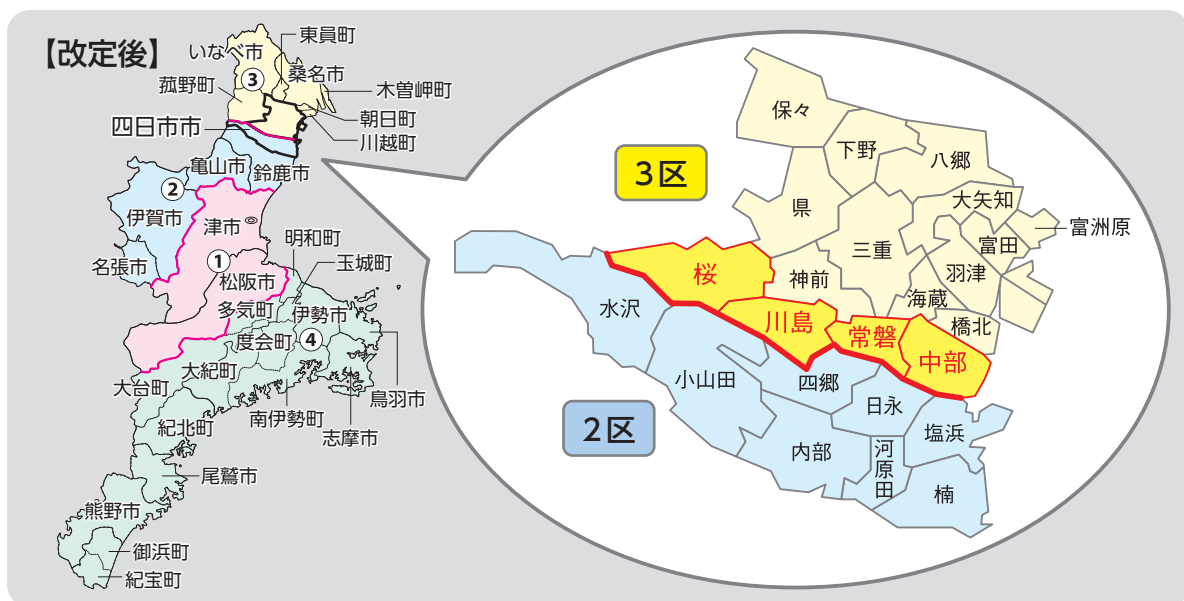
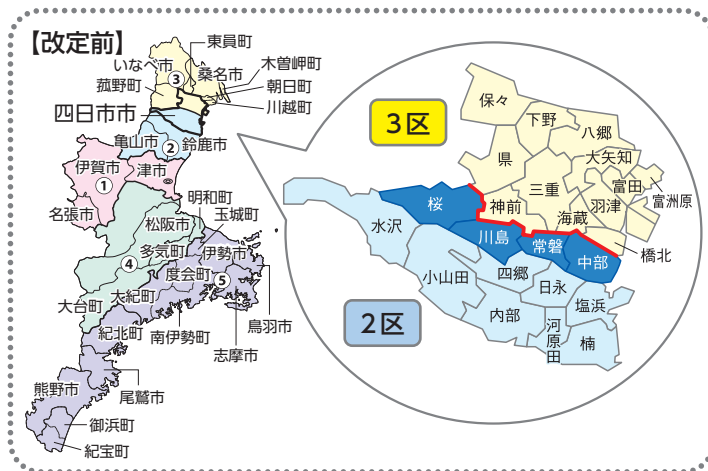
■お問い合わせ 選挙管理委員会事務局 (☎354-8269 FAX359-0286)

衆議院議員選挙の1票の格差を是正するため、公職選挙法が改正されました。

この法改正により、三重県内の衆議院小選挙区の数はいずれまでの5区から4区に減少し、県内の区割りの見直しが行われました。四日市市内においても、**中部・常磐・川島・桜**の各地区市民センター管内は、三重県第2区から**三重県第3区へ変更**となりました。

改定後の市内の小選挙区

選挙区	対象(地区市民センター管内)
3区	富洲原、富田、羽津、神前、三重、県、八郷、下野、大矢知、保々、海蔵、橋北、 中部、常磐、川島、桜
2区	日永、四郷、内部、塩浜、小山田、河原田、水沢、楠



有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労

随時加入者
募集中

四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

表紙こぼれ話

8月1日は四日市市の市制施行記念日ということで、「よっかいちのいいところ」をたくさん集めました。皆さんが見たことのある物や風景はありましたか。

四日市には、今回、表紙に載せきれなかった「いいところ」がまだまだあります。これからも広報よっかいちやSNSなどを通して紹介していきますので、楽しみにしてくださいね。



国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査の受診医療機関一覧の訂正について

保険年金課 (☎354-8158 FAX359-0288)

6月下旬、市からお送りした「特定健康診査受診券」および三重県後期高齢者医療広域連合からお送りした「後期高齢者健康診査受診券」に同封されている受診医療機関一覧の内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

＜国民健康保険特定健康診査＞ 記載内容の訂正
【ささがわ通り心・身クリニック（2ページ、日永地区）】

訂正前

休診日		事前 予約
午後	全日	
月・水・土	日・祝	不要

訂正後

休診日		事前 予約
午後	全日	
月・木・土	水・日・祝	必要

＜後期高齢者健康診査＞ 医療機関の追加

地区	医療機関名	所在地	電話番号
日永	ささがわ通り心・身クリニック	四日市市日永西3-5-37	☎348-7070

広報紙で動画を見よう

「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストや表紙の「広報よっかいち」のロゴにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます。

※利用には無料アプリ「ぴこんず」のインストールが必要



右のQRコードを読み取って、「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！

四日市市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」



市の情報発信源（8月）

CTY
地デジ12ch



手話・
文字放送付き

放送時間(20分間)

月・水・金・日 9:30・20:30
火・木・土 12:30・20:30

内容(予定)

1日(火)～10日(木)
11日(祝)～20日(日)
21日(月)～31日(木)

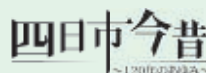
みんなが暮らしやすい社会へ～男女共同参画の視点から～
充実しています！あさけプラザ
未来に豊かな環境を引き継ぐために

※番組DVDを市政情報センター、図書館（自動車文庫を含む）、楠交流会館図書室、あさけプラザ図書館で貸し出しています

三重テレビ
地デジ7ch



毎月第3金曜日(例外あり)の「旬感☆みえ」のコーナーで市の情報を発信。
8月は、25日(金) 18:00に放送します



市制施行120周年番組。
8月は、20日(日) 18:30に放送します

■シー・ティー・ワイ
エフエム



「マンスリー四日市」(5分間)

第1・3日曜日 8:54・14:54
…市政情報をピックアップしてお届けします

「よっかいち わいわい人探訪!」(5分間)

第2・4日曜日 8:54・14:54
…四日市で生き生きと活動している人の活動現場の声をお届けします

「ALO! YOKKAICHI!」(5分間)

土曜日 19:54
…ポルトガル語による市からのお知らせ

「なるほど! 防災」(5分間)

月曜日 17:30、木曜日 8:30
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ

「人権を確かめあう日」(5分間)

毎月22日
8月は、7:30・12:54・16:30・18:30

■レディオキューブ♥FM三重
FM85.0MHz(市内)

「防災よっかいち」(5分間)

木曜日 12:55
…防災に関する情報をお届けします

■東海ラジオ

AM1332kHz FM92.9MHz

「源石和輝 音楽博覧会」内コーナー

「四日市にゅうどうくん館」(20分間)
日曜日 13:10(変更の可能性あり)

市ホームページ <http://www.city.yokkaichi.lg.jp>

有料広告掲載欄

みなと総合法律事務所

弁護士 杉岡 治 弁護士 森川 仁
弁護士 森田明美 弁護士 山本伊仁
弁護士 村林敏也 弁護士 櫻井大知

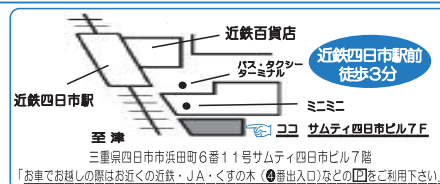
(三重弁護士会)

☎(059)354-3355(代)

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝除く)

【取扱業務】

商取引・不動産問題
交通事故などの損害賠償
相続・遺言・遺産
離婚 婚姻
破産・民事再生・債務整理
労働問題
刑事弁護
会社顧問・その他全般



「お車でお越しの際は近隣の近鉄・J.A.・くすの木(●)出入口などの図をご利用下さい」

まずはお気軽に、ご相談下さい

初回無料 60分10,000円 30分5,000円(各税別)

URL <http://minato-law.net>

みなと総合法律事務所 四日市 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,056人〔6月末日現在(前年比-253)〕 ■火災件数 15件〔6月分(前年比+8)〕 ■交通事故件数 906件〔6月分〕